

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日 令和2年4月1日

事務事業名: はたちの集い開催事業. 事業区分: 新規/継続, 単独/補助, 単独. 担当: 020303000646. 所属課: 090601. 課長名: 生涯学習課. 実施年度: 02. 実施内容: 02 生きがいを育む学びのまちづくり. 実施年度: 03. 実施内容: 03 青少年の健全育成. 実施年度: 03. 実施内容: ③地域教育力の充実. 事業期間: 単年度繰返し (年度~). 社会教育総務事業.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要(事務事業の全体像): 成人に達した成年男女の新しい門出を祝福するとともに、成人としての自覚を持ち、市民としての意識を高めることを目的とする。市、実行委員会の共催により、1月第2日曜日(成人の日の前日)にはたちの集いを開催する。②担当が行う業務の内容・やり方・手順: 7月:対象者の抽出作業(市民課住民記録情報利用申請) 9月~:式典開催の広報依頼・掲載・HP掲載 9月~:実行委員の募集・実行委員会の開催 10月:対象者、来賓者通知発送 12月:式典開催準備(実行員進行表等の送付、警察署警備・大和中敷地借用・各備品借用・職員協力依頼、秘書広報課式辞確認) 12月:記念品(記念写真)契約、変更決議、品数報告(式典後) 1月:準備、リハーサル(前日)、開催運営 2月:記念品発送者リスト作成、納品、支払 1月:市内中学校3年及び義務教育学校9年生の生徒・教職員・実行委員名簿作成依頼 2月:広報誌掲載

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. ①手段(担当者の活動内容): 実行委員会の開催数, 式典開催数. ②対象(誰、何を対象にしているのか): 新成人(市内在住者及び出身者). ③意図(この事業によって対象をどう変えるのか): 式典参加者割合. 30年度(実績), 01年度(実績), 02年度(計画), 03年度(目標), 04年度(目標).

(3) 投入量(事業費)の推移. 30年度(実績), 01年度(実績), 02年度(計画), 期間限定総投入量. 事業費内訳: 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数.

01年度事業費実績(千円) vs 02年度事業費予算(千円). 08 報償費, 11 需用費, 12 役務費. 合計: 1,207 / 1,326.

事務事業名	はたちの集い開催事業	事務事業No.	20303000646	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 旧村町で開催されていた成人式典を合併により統一して実施することとなった。新成人者数は減少傾向にあるが、出席率は例年80%を超えている。また保護者の見学者が増加傾向にある。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 毎年テレビ等で報道されている地域があるが、桜川市は穏やかな式典が開催されている。市のイメージアップにも繋がっている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 成人として、大人になったことを自覚し、人生の節目を迎えることを意識するのは地域として大きい意義がある。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 成人教育の一環として式典を開催することで、成人としての自覚を促す。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 年々減少する新成人を対象としているため、人数の拡充は見込めない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 成人式は一生に一度の記念式典のため廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため統廃合はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 案内通知、式典準備経費及び参加者への記念品などの事業費のため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 新成人に該当する市内出身者と市内在住者を対象としているため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	保護者の見学の方も年々増加傾向である。実行委員の積極的な発言協力により式典開催の準備がスムーズに出来た。今年度は郵便局の料金改正に伴い往復はがきの購入が困難となったため、急遽封書で開催通知に返信ハガキを同封し対応。式典で新成人者が市の魅力を再確認できるよう、PVを放送。防犯上、カメラ撮影を抑制効果となるよう配慮した。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今後、2022年4月から民法改正により成人年齢の変更に伴い成人式対象者の検討が必要となる。その際の対応など桜川市の方針を決定する必要がある。また、出席者が出席するための準備期間(着物などの)が必要となるため、事前(年数を置いて)に成人対象となる者及び保護者への周知が大切となる。対象者が学生(高校生)になることにより受験などへの配慮も必要となるため、開催時期及び実行委員等の検討事項も重要となる。今後、近隣及び県内の状況を把握して対応していく。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○	×																					
	維持																								
	低下																								
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>